平成28年7月1日発行

清涼 せいりょう

第7号

浄土真宗　本願寺派
清涼山　善教寺
〒663-8184　西宮市鳴尾町 4-10-7
0798(48)2224

※寺報の題字は親鸞聖人のご真筆より依用

人の世に生まれて

「いのち」はどこから来て、どこへ向かっているのか。そんなことを考えたことはありますか？大切な問題であるはずなのに、どこかぼんやりしている。そんなことはありませんか？けれど「いのち」の行方の分からない人生は、空しく不安な人生であります。

あるご夫婦のお話です。奥さまが懐妊され、里帰り出産されることになりました。新しい「いのち」の誕生です。ご近所の方も次々にお祝いにかけつけてくださいました。

奥さまのご実家には九〇歳を超えるお祖母さんが同居されています。近頃はお身体の調子がおもわしくなく、人前に姿を現されることがなかったとのこと。しかしこの時ばかりは、にぎやかな声に惹かれてお祝いの席に出てこられたそうです。お祖母さんが産まれたばかりの赤ちゃんに近づいて仰っしゃいました。

「お前さんは一体どっからやってきたんだい？」

その声を聞かれた奥さま、お祖母さんからすればお孫さんが答えられます。

「お祖母ちゃん、この子はね、この度は不思議にも人間の世界に生まれてきてくれたのよ。」

この言葉を聞かれたご近所のご門徒さんが、赤ちゃんに向かって仰ったそうです。

「ようこそ、人間の世界に産まれてきなさった。この世界は苦しいこと悲しいことがたくさんあるところ。でもね、ここは仏法を聞くことが出来る場所。「南無阿弥陀仏」の仏さまと出遇うことが出来ますよ。苦しみ悲しみを支えてくださる尊い教えがあります。どうぞお念仏の道を、お浄土への人生を歩んでくださいませ。」

このような会話が今でもなお続けられていることに、感動と驚きをもって聞かせていただいたことでした。

私には願いがかけられています。阿弥陀さまという仏さまの願いです。阿弥陀さまは行き先の分からない私の「いのち」を、「必ず浄土へ生まれさせる」と願ってくださいました。そしてその願いは「南無阿弥陀仏（まかせよ阿弥陀に）」のはたらきとなって、いま私のもとへ届けられています。

「南無阿弥陀仏」の仏さまと出遇うことによって、仏法（仏さまの教え）を聞くことによって、空しく終わっていくことのない、私の「いのち」の行方をはじめて知ることができるのです。

副住職　釋 智顕

ご家庭で回覧し、とじて保存くだされば幸いです。

お盆法要 歓喜会

平成27年 8月8日・9日

浄土真宗のお盆は、亡き方を偲びながら仏法（仏さまの教え）を聞かせていただく「いのちの日」です。

今年も私の「いのち」の往き先、そして今は亡き懐かしい大切な方々がいらっしゃる「お浄土」のお話を聞かせていただきました。お暑い中、2日間・計4座（回）の法要に、たくさんの方々のお参りをいただきました。

1日目

谷川 弘顕師のご法話

2日目

足利 孝之師のご法話

本年もご門徒の西野陽子様（里中町）より、参詣者のみなさまへ、「御供養400個」をお供えしていただきました。ありがとうございました。

住職より挨拶

秋季彼岸会

平成27年 9月20日

藤榮行信師をお迎えし、ご法話を聞かせていただきました。「彼岸（かの岸）」は仏様の国である「お浄土」を意味する言葉です。

お念仏の道は、お浄土へと続くただひとすじの道です。

〈月例法座〉

平成27年 10月4日

弘山光称師をお迎えして、ご法話を聞かせていただきました。

報恩講

平成27年 10月30日・31日

報恩講はご開山・親鸞聖人のご命日の法要です。親鸞聖人のご恩徳を偲びながら、この私自身がお念仏の教えを聞かせていただく、浄土真宗のお寺で最も大切な法要です。両日ともにたくさんのお参りをいただき、お念仏のひと時を過ごしました。

善教寺パドマ合唱団による御堂演奏

キョウコエユウコによる御堂演奏

みなさんに報恩講の準備をお手伝いいただきました。ありがとうございました。

淺田 恵真和上のご法話

1日目

天岸 浄圓師のご法話

2日目

月例法座

平成27年 12月6日

苗村隆之師をお迎えして、ご法話を聞かせていただきました。

平成27年 12月23日

善教寺 おもちつき大会

今年もお寺のおもちつき大会をしました。
科学家楽狂（かがくやらっきょ）さんをお招きしての科学マジックショーや、壮年会の方々によるゲームコーナーなど、たくさんの子供さんに楽しんでいただきました。
また婦人会や地域のみなさんより、つきたてのお餅がふるまわれました。
おいしかったですね♪

平成28年 1月1日

元旦会（がんたんえ）

今年もご門徒のみなさんと新年を迎えさせていただきました。
住職・副住職の法話に始まり、最後はお参りのみなさんと一緒に、お正月の歌をうたいました♪

平成28年 2月11日 涅槃会（ねはんえ）

堀隆史師をお迎えして、ご法話を聞かせていただきました。
涅槃会は2月15日にご入滅されたお釈迦さまをお偲びし、仏法を聞かせていただく法要です。

平成28年 3月13日 春季彼岸会（しゅんきひがんえ）

若林眞人師をお迎えし、ご法話を聞かせていただきました。
阿弥陀さまのお慈悲につつまれて、「彼岸（ひがん）（お浄土）」への人生を歩ませていただいているからこそ、先立って往かれたあの方々と、必ず再会することが出来るのです。

平成28年 4月9日 花まつり

「花まつり」は4月8日に生まれられたお釈迦さまのご誕生をお祝いする、仏教徒にとって大切な法要です。藤榮行信師よりご法話を聞かせていただきました。

平成28年 5月14日 宗祖降誕会（しゅうそごうたんえ）

「降誕会」は5月21日にお生まれになられた、ご開山・親鸞聖人のご誕生をお祝いする法要です。
安方哲爾師をご講師にお迎えし、私の「情」をつつんでくださるお浄土のお心をお聴聞させていただきました。

帰敬式 Q&A

帰敬式とは

私たちは、ひとりで生きていけるほど強くはありません。弱い私を見抜いてくださり、「いつでもあなたとともにある」とはたらいてくださっているのが阿弥陀如来です。

阿弥陀さまに支えられ、励まされながら90年の生涯を生き抜かれた親鸞聖人。

聖人が伝えてくださった「南無阿弥陀仏」を依りどころに生きてゆく第一歩として受けさせていただく儀式、それを「帰敬式」といいます。

法名とは

「帰敬式」を受けますと、「釋○○」という法名をいただきます。

「釋」の文字は、お釈迦さまの弟子（仏弟子）としていただく名前です。

お釈迦さまは「仏教」を発見してくださり、私が「仏になれる道」として「南無阿弥陀仏」を伝えてくださいました。

阿弥陀さま（南無阿弥陀仏）は「決してあなたをひとりぼっちにすることはない。」と誓い、すでに私のところへはたらいてくださっています。

「私はひとりではなかった」という、よろこび・自覚を新たにする時、ご門主よりいただく名前が法名です。

いのちが終わってからではなく、生きている「今」受式し、いただく名前が法名で、これが本来のあり方です。

Q 「法名」と「戒名」はどう違うのですか？

いずれも仏教徒としての名前を表す言葉ですが、浄土真宗では「法名」、他宗では「戒名」・「法号」ともいいます。

戒名は、厳格な規律（戒律）を守って修行する人びとにつけられる名前です。それに対し、浄土真宗では、戒律の一つも守ることのできないこの私たちを、必ず救い浄土へ迎えるという阿弥陀さまのはたらきを「法」と呼び、その法の中に生かされている私たちがいただく名前を「法名」といいます。

永代経法要

平成28年 6月18日

清岡隆文師をお迎えし、ご法話を聞かせていただきました。

永代経法要は、浄土真宗のみ教えが「永代」にわたって相続していくように、との願いから営み、仏法（仏さまの教え）を聞かせていただく法要です。今年もたくさんのお参りをいただきました。

みなさんにお手伝いいただきました。
ありがとうございました。

平成28年 3月4日

仏教壮年会 婦人会研修旅行

ご門徒のみなさんと、研修旅行に行ってきました。

今回は大和（奈良県）の妙好人（みょうこうにん）・清九郎（せいくろう）さんゆかりのお寺である因光寺さまと、本願寺・第8代宗主　蓮如上人によって創建された本善寺さまを参詣しました。

みなさんと楽しいひと時を過ごさせていただき、またとない研修と懇親の機会となりました。

仏さまのご縁で結ばれた皆さんと、楽しい時間を過ごされませんか？

善教寺仏教壮年会・婦人会への加入はいつでも募集中です。
ご連絡をお持ちしています。

善教寺パドマ合唱団

コーラス団員募集中!

毎月2回・木曜日の14時からコーラスの練習をしています。男性・女性、どなた様でも入団をお待ちしています。歌うことは健康には勿論のこと、仏教讃歌は歌詞もメロディーもとっても素晴らしいので心の健康にも良いですよ♪

コーラスの指導をしてくださっている
東埜裕子先生

善教寺パドマ合唱団
15周年記念コンサート♪
平成28年 4月24日

忘年会

平成27年12月20日

合唱団のみなさんと年末恒例の忘年会を開催しました。
ビンゴゲームや食事をして楽しく過ごしました。
みなさん、今年も一年、本当にありがとうございました♪

お寺の風景

旧本堂の瓦

いろづくイチョウの木

平成28年 5月28日

わがまちを再発見
～鳴尾のまちなみを発見と鳴尾ウォーク～

「わがまちを再発見」のツアーの一環で、たくさんの方々が善教寺を訪問してくださいました。住職より鳴尾の歴史や浄土真宗の教えについて、お話させていただきました。

聖典勉強会

毎月6日 14時～

副住職が『歎異抄』のお言葉をみなさんと一緒に学んでいます。どなたさまもどうぞお気軽にお越しください。

ご興味のある方は
いつでもご連絡ください。

NHK文化センター（神戸教室）へも、
「『歎異抄』に聞く～
親鸞聖人の歩まれた道～」と題して、
月一回（毎月・第4金曜日）
出講しています。

http://www.nhk-cul.co.jp/school/kobe/